



福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

第63号

2013



撮影:情報技術科3年 永田 采
『安達太良に虹の架け橋』

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のこたば	3
平成23年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 MEMS 世界大会に出場して	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告)	8
母校近況(進路状況)	9
平成23年度決算報告・会務報告	10
平成24年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
特集 北工この一年 ゴルフコンペ・事務局だより	12

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

定期総会のお知らせ

■平成25年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時／6月29日(土) ●午後5時00分より 総会(予定)
●午後5時50分より 懇親会(予定)
- 場 所／郡山ビューホテル 郡山市中町3-1 ☎024-939-1112
- 会 費／5,000円(平成24年度卒業生は3,000円)

※詳細については事務局へお問い合わせください

同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849

※同封の振込取扱票を利用して参加費を納入して下さい

■水戸支部総会

- 日時／平成25年11月
- 詳細日時・場所は調整中

■日立支部総会

- 日時／平成25年7月
- 詳細日時・場所は調整中

会長あいさつ

同窓会会長 古川 弘



同窓会の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。又、日頃より本会及び本校に対し物心両面にわたり多大なるご貢献を頂き誠に有難うございます。紙面をお借りしまして衷心より御礼を申し上げます。

さて今年はややからマスキミを利用して一番に福島再生、復興を掲げたのは昨年末の総選挙で圧勝し政権に復帰した自民党はじめ多くの政治家だけが見立った感じがします。今尚15万人の方々が避難を強いられ、多くの県民が放射能の被ばくの不安を抱えて福島からは「私達は日本国民なのか」という声が聞こえてくる筈です。差別ではないかと

問う福島の声。しかし総選挙ではこれらの問題はほとんど争点化されなかった。福島県では、年間の空間放射線量が20ミリシーベルト以下であれば居住可能という前提で「復興」が語られている。ウクライナの法律では5ミリシーベルト以上であれば強制移住、1ミリシーベルト以上であれば移住の権利が認められている、というのである。間もなく東日本大震災から二年が経とうとしています。仮設住宅、借り上げ住宅等で今年も年越しを余儀なくされている方々を思えば政府、各首長はもうそろそろ英断を持って新しい町づくりを提案し、合意形成を図り歴史を積み重ねて行く為にも共に英知を結集して復興に努力すべきではないかと私、個人的には考えています。

そうすることで『ほんとうの空・美しい大地』を取り戻す為のスタートラインに立ち、福島復興を語る資格があると考えます。我々同窓生は工業人としての誇りを持ち日々研鑽を積み重ねて参りました。地域は勿論の事、全国各地で活躍されている皆様にお会いする度に心強くそう感じております。

格があると考えます。我々同窓生は工業人としての誇りを持ち日々研鑽を積み重ねて参りました。地域は勿論の事、全国各地で活躍されている皆様にお会いする度に心強くそう感じております。

昨年の総会は6月30日に約140名の参加を頂きホテルハマツで開催されました。東京、水戸、日立支部の皆さんにも大勢参加して頂き恒例のゴルフコンペも盛況でした。又、お陰様で総会も盛会で終了出来、その後のアトラクションでは本校・平成10年度建築科卒、土方恵吏子さんによるプロダンスの披露があり大変な盛り上がりを見る事が出来ました。又、懐かしく言葉を交わす光景を見るたびに同窓会の素晴らしさを肌で感じ取ることも出来ました。

さて本校の歴史を振り返ってみますと昭和19年国策により郡山商業学校を郡山工業学校として機械科・工業化学科が誕生しました。終戦後の22年に福島県郡山工業学校に改称、24年には桃見台に新校舎に移転（現在はあさか開成高校）して

29年には県立郡山工業高等学校と改称しました。そして38年には県立郡山西工業高等学校が誕生しました。

いつも同窓会の歴史を語る時、諸先輩方の並々成らぬ努力と厳しい環境でありながら社会変化の対応を的確に捉えて参られました事に對し、改めて敬意を表する次第です。52年には統合され郡山北工業高等学校として八山田に新たなスタートを切った訳ですが本年は36年目にあたります。

新たに同窓会員となられた皆様、心から歓迎申し上げます。本県は復旧、復興と厳しい状況が続いていますが今後は特に若い皆さんの技術に期待が増してくるものと思います。本校で学び培った知識と忍耐力で向上心を更に発揮して欲しいと願っております。

今年のNHK大河ドラマは会津を舞台とした『八重の桜』が既に放映されています。八重の波乱万丈な生涯、戊辰戦争で男勝りの戦い、後に新島襄の夫人となり同志社大学の創立に関わり教育に生涯を捧げました。特に観光面では大きな起爆

剤となり福島県の復興に拍車がかかる事を願っている一人です。

今年の定期総会の会場は6月29日（土）郡山ビューホテルに決定させて頂いた頂きました。同窓会の『絆』を更に強固なものとする為にも多くの皆様の出席をお待ちしています。その頃は郡山も活気に満ち溢れていると思います。

終わりになりましたが会員各位並びに関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。挨拶といたします。

調査・設計・監理 一級建築士事務所

有古川弘 建築設計室

代表取締役・監理建築士 古川 弘

〒963-8831 福島県郡山市七ッ池町18-8

TEL (024) 925-5800

FAX (024) 925-5840

校長あいさつ

「就職指導について」

校長 佐藤 和紀



○北工同窓会は素晴らしい同窓会の皆様方には、日頃より当校の教育活動にご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。また、各支部総会へ招待していただきとても嬉しく思っております。各支部総会では多くの同窓生の方々と情報交換することが出来て当校の伝統の素晴らしさを実感しております。当校は県内でトップクラスの工業高校であると評判の学校です。これからもますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○就職求人数と大震災の影響
平成二十三年度は、東日本大震災の被害が甚大であったにもかかわらず、企業からの求人数も内定率も回復の兆しが見られました。

今年度（平成二十四年度）は、電力不足や円高の影響が懸念される中、十二月末現在の就職内定率は昨年度同期よりも改善されています。これは震災以降、当校において特に危機感を持って指導した結果です。三年の学級担任、進路指導担当者や就職促進支援員の連携による指導の成果です。

○就職指導方針

(一) 就職指導の背景

・東日本大震災、原発事故、円高、電力不足などの影響により産業構造や就業構造に急激な変化があり、社会全体を通じた構造的な問題が存在します。

・将来への不安や学校での学習と将来への関係が見出せないことから、学習意欲の低下、学習習慣が確立しないという問題点があります。

・単に生徒の責任にのみ帰結させるべきではなく、社会を構成する各界が互いに役割を認識し、一体となって対応することが必要で

す。その中で、当校が担う役割は特に重要であると認識しています。

(二) 就職指導の方向性

就職に共通して必要な能力や態度の育成

・「人間関係形成・社会形成能力」多様な他者を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。自分の役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画できる能力を養います。

・「自己理解・自己管理能力」自分と社会の相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動ができる事。自らの思考や感情を律し、進んで学ぼうとする力を育てます。

・「課題対応能力」仕事をやる上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力を身につけます。

(三) 具体的な取り組み

体系的・系統的なキャリア教育実践、職場体験活動やインターシップなどの体験活動の充実、地域社会や産業界との連携・協働した取り組みの促進に取り組み

ます。

○最後に

現在、生徒は大変落ち着いた学校生活を送っています。また、学校全体に活気があり、資格所得、部活動、進路実現に向けて生徒、保

新会員のことば



樹大 藤子 伊電

今年から私達は、郡山北工業高等学校同窓会の一員の仲間入りさせていただきます。

三年間、いろいろな苦難や喜びを友人と共に共有した学舎を旅立ち、社会に立つていきます。卒業生の半数以上が就職し、進学する人も他県に行くなど、親元を離れる者も多いことでしょう。それは今まで守られてきた立場の私たちが社会の一員として一人で行っていくということでもあります。

不安もありますが、郡山北工業高校の卒業生という自信を持ち、様々な困難に立ち向かい、乗り越えていきたいと思えます。今年度は昨年の求人数以上

護者、教職員が一丸となって突き進んでいます。これも全て同窓会の皆様にご支えられているからであり、深く感謝いたします。

の求人頂くことができました。それも全て、北工の卒業生の皆さんが毎年築いてきていただいた北工ブランドの力や、地域の方々、そして生徒のために力を尽くして頂いた先生方のおかげだと思えます。この場を借りてお礼の言葉を申し上げます。OBの方々と地域の方々、そして先生方、本当にありがとうございます。これから私達は、卒業生の方々と受け継いだ伝統を守り、次につなげていくように日々精進していきたいと思えます。まだまだ未熟な私達ではありますが、福島、北工を思う気持ちだけは負けないと思えます。この気持ちを胸に、皆様の期待に応えられるよう、努力していきたいと思えますので、これからもご指導をよろしくお願いします。

平成24年度 同窓会定期 総会報告

平成24年6月30日(土)午後5時からホテルハマツツに於いて平成24年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が133名の参加を得て開催されました。

【開会の言葉】
熊田良治同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。

【会長挨拶】
古川弘同窓会長より、ご多忙なところ大勢の方に「ご出席を頂きまして、ここに総会開けることを嬉しく思っております。昨年の総会の席上におきまして、前増子会長よりバトンタッチを受けました。古川弘と申します。なにぶん未熟者で学校のため、そして同窓会の皆さんのために頑張っていきたい」と挨拶がありました。

本校同窓会につきましては、皆さんのご存知のとおり昭和19年に郡山商業学校を国策によって郡山工業学校に校名を変更しました。ここからスタートして終戦後の一時に郡山商業工業学校、その後、市立の郡山工業学校、そして昭和24年に念願でありました桃見台に校舎を完成し、そして郡商から桃見台に校舎が移りました。ここが県立の正式な出発点だと思います。

38年には西工が誕生しました。これは郡山が工業都市を目指し、その社会情勢から工業高校が2つになりましたが、またの社会の変化により昭和52年に現在の郡山北工業高校に統合されました。

同窓生は2万3千余名を数えるようになり、同窓会もだいぶ大きな組織となって参りました。昨年は未曾有の3・11の大震災がありました。その後も福島県におきましては、まだまだ晴れる日がなく大変苦勞していることは皆さんがご存知の通りです。

我々はこの同窓会の更なる絆を高めてひとつ、復旧・復興のために力の限り頑張つて美しい福島に戻してゆかなければならないという決意を皆さんが持つていると思います。そのような意味で更なる皆さんと協力しあつて、この同窓会を発展させて行きたいと思ひます。本日はありがとうございます。との話を頂きました。

【校長挨拶】
佐藤和紀校長より、同窓会定期総会に対して、お祝いの言葉を頂きました。去年の8月1日より本校に勤務しておりますが、北工高はともすればらしい学校です。生徒がすばらしい、そして職員がやる気と活気があり、本にすばらしい、このことは全て同窓会の皆様の影の御支援があるからだと思います。感謝申し上げます。さて、本校は機械科2クラス、電気科・電子科・情報技術科・建築科・化学工学科の1学年7クラス、6学科で1学年が構成

されております。定員が840名ですが、現在は震災の影響で浜通りから転校して来た生徒で840名を超える生徒がいます。昨年度の就職内定率が100%を達成し、県内でもトップクラスになっております。本年度の3年生の進路希望は7割が就職希望、残りの3割は進学希望で、県内希望が6割、県外が4割で震災後の傾向として就職希望者が増えています。また、大学進学も有名な公立・私立にも数多い合格者を出しています。本校教育の発展のためにも、同窓生の皆さんにはより一層の御支援を頂きたくお願い申し上げます。と最後に同窓会総会を祝して話を結びました。

私は昭和37年に建築科を卒業しました。郡山北工は県内でも優秀な高校で、私たち郡工卒の者達もあちこちに就職していますが、昨年の震災では皆さん大変な思いをされたと思います。本日に福島原発の影響によって人口流失の報道を聞き心痛み残念な思いをしております。しかし、その中で先日のニュースで福島県沖の海産物が市場に出回ります。何の異音もないと聞いております。また、原発事故のあった福島県で自然再生可能エネルギーの一大拠点として推進されると聞いております。こういったことで福島は粘り

【支部長代表の挨拶】
各支部を代表して水戸支部の浅野利光支部長より、ご挨拶を頂きました。

【議長・副議長選出・書記任命】
事務局一任となり、本田文一事務局長より、議長に田村昌孝氏(郡工40建築)、副議長に相澤修氏(郡工40建築)、書記に笹島貞夫氏(北工61電子)が提案され承認されました。

【議事】
平成23年度庶務報告は、阿部昇二元事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告がなされた後、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成23年度決算報告は、高橋由美事務局会計によって行われ、柳沼幸代監事による会計監査報告の後、質疑を経て拍手を持って承認されました。

平成24年度事業計画案は、本田文一事務局長より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成24年度予算案は、高橋由美事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

強さと共に力強く復興に向けて進んでいると思っております。その中で地元郡山市、福島県に何らかの形でご尽力頂いていると敬服しております。われわれ他県に居る者も福島の復興には何か協力できることがないのか、影ながら応援していますので、よろしく願ひいたします。

そのような中で同窓会の絆で震災復興を強い絆で今後、ますます社会に貢献、発展していきたいと考えております。最後にこれからの同窓会の発展と今日の御参会の皆様の御健康を祈念し話を結びました。

【懇親会】
伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、古川弘同窓会会長の挨拶、佐藤和紀校長の挨拶、来賓祝辞を代表してPTA会長遠藤高志様よりご祝辞をいただき、増子久治顧問の乾杯のご発声により懇親会に入りました。また、多数参加の中で行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に熊田良治同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。

続いて、事務局より一般寄付の御礼とお願いをいたしました。

【閉会の言葉】
熊田良大同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。



「総会」



「懇親会」



【アトラクション】
司会により「プロ競技ダンス」二ツ森 亨ダンスアカデミー所属土方 健一・恵吏子(北工11建築)ペアによる「プロ・デモンストラーション」3曲のプロのダンスを鑑賞しました。

支部だより

東京支部



東京支部長
谷津 将康

平成25年の新たな年度を迎え新卒生を同窓会員にお迎えすることができましたことを心からお祝い申し上げます。また、同窓会会員の皆様のご健勝ご活躍をおよこさげ申し上げます。東京支部総会は平成24年6月2日は35名の出席を頂き上野精養軒で開催されました。八代支部長が急ぎよ所用で欠席となりましたが皆様の協力により滞りなく催されました。御来賓につきましては同窓会本部から、佐藤和紀校長、古川弘同窓会会長、熊田副会長、本田事務局長の臨席を賜りました。また、日立支部からは、丸山正一日立支部長、水戸支部からは浅野利光水戸支部長他3名の臨席により盛大に開催されました。佐藤校長からは、高校の近況をつぶさにお話しいただき参加員の郷愁に似た眼差しが印象的でした。学生諸君の知識や技能の習得はもとより社会の一員としての役割認識が浸透しており、それがスポー

ツや各種の技術コンテストを通し社会性や人間性を育み、地に足のついた成長を促していると感じさせられました。このような佐藤校長をはじめとした校風が就職、進学100%の実績につながっていることを伺いますと同窓生の一員であることに大きな喜びを覚えました。東京支部総会は隔年開催ですので今回は平成26年6月の予定です。

東日本大震災の3、11から2年となりました。復興の加速化が叫ばれている今日ですが、復興予算の未消化や、使途の問題、デフレの長期化、若者の就職難など、なんとも嘆息の出る思いを否めません。年末の政権交代はこのような閉塞感からの転換を期待したからではないでしょうか。大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間の投資を引き出す成長戦略の3本の矢で成長させるという方針です。

若者の雇用やトネルの補修、復興事業やインフラターゲットを掲げあらゆる経済対策で成長させようとの取り組みは、過去の公共投資で財政赤字だけが積み上がった経緯をいやでも思い起こさせます。同じ轍を踏まないためには、既成概念の打破と共に、高齢化の現実と資源小国の中で、

どのような取り組みが必要か現実的な課題解決が期待されます。教育レベルの向上や改革が重要課題に挙げられておりますが、物作りを通じた技術イノベーションをなす工業高校や社会ニーズに即応できる技術者の育成がこの難しい時代を切り開く一つの方策でありましょう。中高年は自分のことより若者の雇用の充実を期待し、親の世代より豊かになれないと考えている若者が多いという調査もあります。夢の持てる未来を若者が持てるよう支援できるようなものも私たちの責務であると思えます。

新社会人の同窓会員は、会社、同僚に、地域に、慣れ親しむことに必死です。その様な若い方々の支えになることができればと各地域の同窓会は存在しております。最後になりますが皆様のご活躍と福島の日も早い復興を祈念申し上げます。



日立支部



日立支部長
丸山 正一

平成25年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。日立製作所及び日立関連会社の現役所員及びOBの方々で構成されている日立支部は、昨年は震災発生から二年目という年、新たな復興・復活に向かって飛躍して行こうという年でした。そのような大変な年であり、さらに現役の方々一人一人も、会社全体の生き残りをかけ、グローバル化に対応して、仕事を進めて行くという厳しい状況が続いた一年だったと思います。そのような会員同士のコミュニケーションを深める意味で、日立支部としても、同窓会活動を進めてきました。日立支部は現在、会員数85名(内OBの方41名)で同窓会活動を展開しております。現役の方々には、どの職場の方々も職場の中核で活躍され、多忙な日々を送られております。従いまして同窓会活動のメインは、支部総会、本部総会及び他支部総会への

参加が中心になっております。特に活動のメインとしています支部総会は、昨年震災の影響で開催を延期したこともあり、一年ぶりの開催となり、今後とも会員相互の交流の場となるようを努力しております。そのような状況下にある日立支部平成24年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

① 日立支部総会の開催

今年度は7月7日(土)日立市のホテル天地閣にて実施致しました。当日は佐藤校長先生をはじめ、同窓会本部から古川同窓会本部長、増子同窓会本部顧問、東京支部から八代支部長、水戸支部から浅野支部長他多数のご来賓の方々に参加いただき開催いたしました。総会第一部では、一年間の活動方針と計画に関する内容を討議いたしました。更に第二部の懇親会では、来賓の方々によるご挨拶及び母校の状況報告をいただき、更には各支部の状況についてもご紹介いただきました。特に今回は、平成24年卒の高柳君他、最近若手3名にも参加してもらい、支部としては平均年齢が年々上がって行く状況にあります。若手とOBの方との交流の場となりました。またOBの方々には多方面にわたる活躍をされており、その活気

が伝わってくる明るい懇親会となりました。例年の事ではありませんが、普段は出来ない故郷の話など、会員同士が昔にタイムスリップしたような時間を過ごせることは、このような機会でないといえないこともあり、盛々な内容となりました。

② 本部総会、他支部総会への参加
6月2日(土)に上野精養軒で開催された東京支部総会には日立支部から一名、及び、日立支部総会の前の週の6月30日(土)に郡山ホテルハマツで開催されました本部総会及び懇親会には、3名で参加させていただきました。東京支部総会には、多くの企業に所属している方々の支部ですが、当日は35名という多くの会員の方が参加され活発な総会を実施されておりました、また郡山で開催された本部同窓会では、活発な活動紹介や、同窓生によるダンスのプロのデモンストラーションのアトラクションもあり、盛々な本部総会となり、支部としても刺激を受ける内容で楽しい一時を過ごさせていただきました。今後、継続的に参加し、本部及び他支部の活動を

支援していきたいと思えます。

以上、平成24年度の活動状況について紹介させていただきましたが、日立支部としましては、会員同士の情報交換、母校及び同窓会本部とのパイプ役など、支部としての役割をなお一層意義あるものにしていきたいと考えております。最後にありがとうございました。母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄を、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



水戸支部



水戸支部長
浅野 利光

新春を迎え同窓会会員の皆様方のますますのご健勝を心よりお喜び申し上げます。昨年の年末に行われた総選挙により、新たな自民党政権が誕生しました。3年猶予の間続いた民主党政権の失政の結果や、まとも

りのない政党が乱立し、政権能力のある政党が支持された結果だと思っております。与党自民党には真に国民生活の安心な社会保障と日本を守る安全保障や、経済政策として景気回復を図りデフレの改善を進めるなど、若者の雇用の促進を図り若い世代を含めた活力のある世の中になるよう期待する次第です。

日本の『ものづくり』には日本経済を支える高い潜在能力があると思っております。これまでこの国の成長を支えてきたのは産業者であり、とりわけ技術系のエンジニアが生産現場に関わった団塊の世代である我々でありました。『ものづくり』は日本の伝統の力です。日本の底力である『ものづくり』がこれからも世界をリードするものと思っております。母校を巣立つ後輩達に郡山北工高の歴史と伝統を胸に、誇りを持って社会に躍進し世界に羽ばたける『ものづくり』に関わってほしいものと願っております。



水戸支部では大企業日立製作所及び系列の事業所に就職した同総生が大部分の会員で構成をしています。現役世代は会社中に忠誠を尽くし大変な経済状況下での環境にもめげずに頑張っております。また現職を退職した諸先輩達の中には在職していた元社員としてのプライドを胸に社会貢献に邁進をしているようです。会員は現在37名(現職4割・退職組6割)と以前より少ない数となりましたが、昨年の11月には会員親睦行事としてグラウンドゴルフ大会を行い16名が参加をしました。会場は水戸市郊外の温泉付きの施設での開催でした。晩秋の陽だまりのなか、みんなでいい汗をかきました。ゴルフ大会の後昼食を兼ねた懇親会では会員同士、和気藹々の楽しい有意義なひと時を過ごすことが出来ました。この親睦行事を水戸支部同窓会の毎年の恒例として行うことも考えています。

今年水戸支部の総会を開催する年であり、例年のとおり11月後半に開催する予定をしております。同窓会本部および各支部の皆様にはご臨席を賜りますようお願いを申し上げます。今後とも水戸支部のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。また皆様の今後のご健勝と、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

環境と共生し、テクノロジーで未来を拓く

石橋工業株式会社

代表取締役社長 石橋 秀郎

〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字三渡1番地
TEL 024-945-3411 FAX 024-945-0176
http://www.ishibashi-tec.co.jp
E-mail:office@ishibashi-tec.co.jp

(関連会社) ㈱イーシーティーコーポレーション TEL 024-945-3411
石橋ヘルス温泉 TEL 024-946-7800

総合建設業

ISO9001 認証
JQA-QM3974

株式会社 オオバ工務店

代表取締役社長 大場 俊之

国土交通大臣許可(特-21)第9138号
本社/福島県郡山市富田町字権現林3番地の4
営業所/東京 白河
TEL.024-961-6500 FAX.024-961-6501
http://www.oba21.com

営業品目

火災報知設備・構内交換電話設備・消火設備
防火排煙設備・非常用放送設備・テレビ共聴設備
消火器・防犯設備・以上に附帯する一切の業務

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年度電気料率)

郡山市安積町荒井字下北井前4-1
☎ (024) 945-2882 FAX (024) 946-2875
E-mail:tamura-t01@isis.ocn.ne.jp

特集

「世界への挑戦！」

～国際ナノ・マイクロアプリケーション
コンテスト世界大会～福島県立郡山北工業高等学校
情報技術科 深澤 剛 (昭60電子)

母校での勤務も8年目になり、転入当初からコンピュータ部で高等学校ロボット競技大会の指導をさせていただいております。生徒はもちろんですが、情報技術科をはじめとする多くの同僚の先生方のご理解とご協力により県大会では8連覇、全国大会でも技術賞を受賞できるチームにまで成長させることができました。悲願の全国制覇を目標に今後も努力していきたいと思

います。そのような活動の中、1枚の参加募集の案内が手元に届きました。「第3回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内予選」。この大会は、MEMSデバイスという超小型のセンサを利用した製品開発をし、試作・製品の有用性のプレゼンテーションを行い審査されるコンテストで、参加資格は高校・高专・大学・大学院の学生です。そこで、ロボットにも多く使われているセンサの勉強にもなり、上位に入賞できれば中国北京での世界大会にも出場でき、視野を広げるためにも参加することにしました。県内でも参加は初めての大会で戸惑いはありましたが、北工生なら大学院生や大学生にも負けない「いいモノ」を造ることができると信じ、挑戦することにしました。

大会へは、生徒4名でチームを編成し、参加しました。製品は、高校生の悩み「自転車盗難」に着目しました。自転車の盗難被害は年間、全国で30万件もあり、盗難対策としては、鍵をかける(二重ロック)ことは基本ですが、その他にも防犯ブザーの取り付けなどが考えられます。しかし、防犯ブザーでは抑止力にはなりませんが、持ち主が自転車と離れている場合には効果がなく、また犯人を刺激し甚大な被害を受けることも考えられます。そこで、自転車が盗まれ移動または異常な状態になったことをMEMSデバイス(加速度センサ)が検出し、小型の携帯電話を自動発信させることにより、携帯電話サービス機能を利用してその位置情報を得るシステムを提案しました。製品名は「ココあるっち」です。生徒たちは毎日試行錯誤を繰り返し、



試作品を完成させました。国内予選は、5月に仙台市で13チームが参加し行われました。国内予選には、過去2大会で優勝している京都大学の大学院生チーム、東北大学、豊田工業高专などが参加しました。生徒たちが、工業高校生としてどこまで通用するか不安でしたが、仲間と協力して開発した「ココあるっち」には、その実用性に自信がありました。そして、プレゼンテーションでも演劇を取り入れ、わかりやすく説明するなど工夫することで、多くの方に理解していただき、高評価でした。結果は、「第1位、福島県立郡山北工業高等学校 ロボトロプロチーム ココあるっち」会場内は大きな拍手に包まれ、本校の生徒が堂々と表彰され、2位の京都大学、3位の東北大学、4位の豊田工業高专とともに世界への挑戦が始まりました。「さすが、北工生」と思える瞬間です。世界大会は、7月5日から10日に中国の北京で開催されました。世界各国から19チーム参加しました。高校生のチームは北工生のみでした。英語での展示説明やプレゼンテーションに苦勞していましたが、チームで協力しながら、身振り手振りを交えながら真剣に伝える姿に来場者からも「高校生でこの大会に出場するなんて日本はレベルが高い」と驚いていました。プレゼンテーションでは、英語での



の質疑応答に困惑し、特に国際化が顕著なものづくりに携わる工業人にとって、英会話の大切さを実感したと思います。結果は、「Best Contribution」という賞をいただきました。上位入賞は果たせませんでしたが、技術面ばかりでなく、世界中の方と交流できたことは生徒たちの人生にとって貴重な経験になったと思います。国際大会に参加したからこそわかることが多くあり、大会に行く前と比べ、生徒たちは変わつたように思います。現在も、生徒たちは新たなアプリケーション開発に取り組み、来年度のスペインのバルセロナでの世界大会を目指しています。郡山北工業高校の良さ伝統になるように、世界に挑戦し「世界の北工」になつてほしい、なれるように生徒と共に高みを目指したいと思います。

生徒会だより

平成24年度 生徒会活動状況

生徒会顧問 鈴木 恒雄

東日本大震災の傷もまだ癒えぬ中で平成24年度がスタートし、前年に実施を見送った各種行事を元のレールに乗せるべく、生徒会活動が再始動した。

四月の対面式、部活動紹介に始まり、手探りの中で開催した総会と続き、息も継げぬほどの慌々しさであった。また、七月には猛烈な暑さの中で大いに盛り上がった校内球技大会。競技種目や対戦方式を変更して臨んだが、結果を見れば北工生のパワーとレレションの良さが随所に滲み出た大会となった。

また、本校では、資格取得花盛りとなる二学期に、主たる生徒会行事が割愛されている状況を鑑み、約十年振りに「リーダー研修会」を復活させ、新役員が宿泊学習を伴う研修を行い、各種行事の円滑な遂行と相互のレレション向上に役立てた。

一方、部活動関係においては、今年も目覚ましい結

果を残した。コンピュータ部が北京で開かれた「国際ナノマイクロアプリケーションコンテスト世界大会」に於いて、ベストコントリビューションプライズを獲得したのを筆頭に、ソフトボール部が東北総体で見事優勝を飾った上に、インターハイで5位に入る健闘を見せ、更には国体でも3位に入賞する快挙を成し遂げた。他にもバレーボール部、吹奏楽部（マーチング）、ラグビー部、水泳部（個人）、陸上部（個人）が東北大大会出場を果たすなど輝かしい成績を収めた。来年は、円熟味を増し、更なる好結果が期待できそうだ。

総括すれば、反省点を挙げればきりが無いが、生徒会執行部の経験不足による幾つかの至らぬ部分を、生徒全員でカバーし、互いに補いながら活動した結果、ほぼ諸般の目的は達成できたものと考えている。今後さらに生徒会活動全体を活性化し、次年度に予定している公開文化祭「北嶺祭」に繋げていきたい。とりわけ生徒の機運が盛り上がると共に、主体的な活動を励行してくれることを期待し、結びとしたい。

平成24年度 部活動大会成績報告

世界大会

- ・コンピュータ部
国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト …… Best Contribution賞

全国大会

- ・ソフトボール部
平成24年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技 …… 第5位
第67回国民体育大会ソフトボール競技 …… 第3位
- ・コンピュータ部
第3回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内予選 …… 第1位 世界大会出場
第20回全国高等学校ロボット競技大会 岡山大会 …… 北希望：優勝 北闘鬼：準優勝 北疾業：第3位

東北大会

- ・ソフトボール部
第38回東北高等学校ソフトボール選手権大会 …… 準優勝
第39回東北総合体育大会ソフトボール競技 …… 優勝
第7回東北高等学校ソフトボール選抜大会 …… 第3位
- ・水泳部
第60回東北高等学校選手権水泳競技大会 …… 200mバタフライ31位 100mバタフライ42位
- ・バレーボール部
第48回東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 …… ベスト8
- ・ラグビー部
第63回東北高等学校ラグビーフットボール大会兼NHK杯大会 …… 第6位
- ・陸上競技部
第67回東北高等学校陸上競技大会 …… 八種競技22位 棒高跳出場
第17回東北高校陸上競技選手権大会 …… 棒高跳 10位
- ・マーチングバンド部
全日本マーチングコンテスト第25回東北大会 …… 銀賞

県大会

- ・ソフトボール部
第58回福島県高校体育大会 ソフトボール競技 …… 優勝 (全国インターハイ富山大会出場8月)
第65回福島県総合体育大会ソフトボール競技少年男子の部 …… 準優勝
平成24年度福島県高校新人体育大会 ソフトボール競技 …… 優勝 (全国選抜大会出場H25.3月)
第34回福島県高等学校男子春季選抜ソフトボール大会 …… 優勝
- ・バレーボール部
第58回福島県高校体育大会 バレーボール競技 …… 準優勝
第65回福島県総合体育大会バレーボール競技少年の部 …… 準優勝
第65回全日本バレーボール高等学校選手権大会福島県代表決定戦 …… 準優勝

陸上競技部

- 福島県陸上競技選手権大会 兼 福島県総合体育大会 …… 男子棒高跳2位 (4m10) 2M1佐藤 誠
- 第52回福島県高等学校新人陸上競技大会 …… 男子棒高跳優勝 (4m10) 2M1佐藤 誠

ラグビー部

- 第65回福島県総合体育大会ラグビーフットボール競技少年の部 …… 第3位

コンピュータ部

- 第19回福島県高等学校ロボット競技大会 …… 北希望：優勝 北闘鬼：準優勝 北疾業：第3位

地区大会優勝・準優勝

- ・弓道部
第58回福島県高校体育大会 弓道競技県南地区大会 …… 女子個人2位 三瓶佳奈子 (化工2)
- ・陸上競技部
第58回福島県高校体育大会 陸上競技県南地区大会 …… 男子棒高跳優勝 佐藤 誠 (機2-1)
男子八種競技優勝 森合 光成 (電気3)
第67回福島県陸上競技選手権大会・第65回福島県総合体育大会県南予選会 …… 男子200m 優勝 須藤 凌 (情報3)
少年A砲丸投 優勝 船山 侑也 (化工3)
3000m障害 2位 森合 光成 (電気3)
川名 誠 (電子3)
第52回県南高校新人陸上競技大会 …… 男子棒高跳 準優勝 佐藤 誠 (機2-1)
- ・ソフトボール部
第58回福島県高校体育大会 ソフトボール競技県南地区大会 …… 優勝
- ・水泳部
第58回福島県高校体育大会 水泳競技県南地区大会 …… 男子200mバタフライ1位 岡部 翔太(機3-1)
- ・バレーボール部
第58回福島県高校体育大会 バレーボール競技県南地区大会 …… 準優勝
1年生大会バレーボール競技 …… 準優勝
県南総合バレーボール選手権大会 …… 優勝
平成24年度福島県高等学校新人体育大会バレーボール競技県南大会 …… 優勝
- ・ラグビー部
第65回福島県総合体育大会ラグビーフットボール競技少年の部県南地区大会 …… 優勝
- ・ソフトテニス部
平成24年度福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技県中地区予選 …… 男子団体 準優勝

進路状況

進路指導専事 遠藤 仁一

平成二四年度の3年生の進路希望状況は、全体の六七%にあたる一八五名が就職、三三%にあたる八九名が進学を希望しています。最近の傾向として年々就職者が増加し、進学者が減少傾向にあります。

今年度の就職状況は、二年前の3月に発生した東日本大震災や原発事故の影響で、今年度は県内では土木・建築・給排水設備関係、素材などをつくる製造関係、ものを運ぶ運搬関係などの分野で求人が増加しました。福島県内や近県の復興がすすむ中、求人票の提出状況は好調でした。また、本校生は専門性のある職種に就きたいと考えている生徒が多く、目的意識をもった生徒が、早いうちから就職意識を持って試験対策に取り組んだことから、就職内定率は昨年度を上回る結果となっています。

この背景には、本校教員が毎年県内外の企業への求人御礼や依頼、2年生で実施しているインターンシップの依頼・打合せなど、企業訪問を全教員で行っていることがあげられます。このような継続的な取り組みも企業の実状を知り、生徒の内定率をあげている要因の一つだと思います。

進学状況では、全体的に進学者は年々減少傾向にあります。その中でも専門学校への希望者が減少しました。毎年五〇名程度が4年生大学に進学をしています。ニュース・新聞等の報道では、大卒者の就職が依然として厳しい状況にあり、また本校生が進学する際の受験形態は指定校推薦での受験が多数を占めるなどから、進学意識の低迷と学力不足、大学卒業後の進路を心配しています。しっかりと進路意識をもち、早い時期から学習に力を入れてほしいと思います。

今年度の卒業生には、困難を乗り越え、社会人として成長し、この日本を支える一員として活躍を期待しています。また、同窓生の皆さま方のそれぞれの職場での活躍を伺っております。後輩となる本校生と接することがありましたら、ご指導・ご鞭撻の程お願いいたします。

東北旅一第850号・福島県知事登録第2-102号

(有)東北観光ツーリスト

(貸切バス・旅行企画募集)
(各手配・レンタカー)

福島県郡山市並木4丁目1-1
TEL:024-938-8577 FAX:024-938-8579

進学

平成25年1月15日現在

学科	進路先
機械科	日本大学
	いわき明星大学
	日本工業大学
	東洋大学
	平成国際大学
	テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校
	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	WIZ専門学校国際情報工科大学校
	郡山ヘアメイクカレッジ
	郡山健康科学専門学校
電気科	仙台大原簿記情報公務員専門学校
	トヨタ東京自動車大学校
	ホンダテクニカルカレッジ関東
	パンタデザイン研究所
	テクノアカデミー会津
	WIZ専門学校国際情報工科大学校
電子科	郡山情報ビジネス専門学校
	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	関東職業能力開発大学校
	日立工業専修学校
	東北電子専門学校
	日本大学
	神奈川工科大学
	仙台大学
	国際アート&デザイン専門学校
郡山健康科学専門学校	
WIZ専門学校国際情報工科大学校	
ケイセンビジネス公務員カレッジ	
郡山情報ビジネス専門学校	

学科	進路先
情報技術科	会津大学
	日本大学
	東北学院大学
	城西国際大学
	千葉工業大学
	神奈川工科大学
建築科	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	日本調理技術専門学校
	エスピーティーカレッジ
	ヒューマンアカデミー仙台校
化学工学科	日本大学
	城西国際大学
	郡山女子短期大学
	福島医療専門学校
	埼玉県立高等職業訓練校
	日本大学
	神奈川工科大学
	埼玉学園大学
	工学院大学
	千葉工業大学
福島学院大学	
郡山情報ビジネス専門学校	
ケイセンビジネス公務員カレッジ	
総合学園ヒューマンアカデミー仙台校	
成田航空ビジネス専門学校	
上尾中央看護専門学校	

進路内定状況

平成25年1月15日現在 ()は女子内数

科・組	機械科1組	機械科2組	電気科	電子科	情報技術科	建築科	化学工学科	全体	
在籍数	38 (0)	37 (0)	43 (1)	40 (0)	40 (5)	38 (10)	39 (12)	275 (27)	
就職希望者数	26 (0)	30 (0)	36 (0)	25 (0)	20 (4)	25 (6)	23 (7)	185 (15)	
就職内定数	県内	18 (0)	17 (0)	18 (0)	17 (0)	11 (3)	14 (5)	21 (7)	116 (15)
	県外	5 (0)	10 (0)	17 (0)	5 (0)	7 (1)	11 (1)	2 (2)	57 (2)
	公務員	2 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
緑故・自営等	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	
合計	26 (0)	29 (0)	36 (0)	25 (0)	20 (4)	25 (6)	23 (7)	184 (17)	
進学希望者数	11 (0)	7 (0)	7 (0)	15 (0)	20 (1)	13 (4)	16 (5)	89 (10)	
進学合格者数	大学	3 (0)	3 (0)	0 (0)	9 (0)	14 (0)	9 (2)	10 (2)	48 (4)
	短大	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (1)
	訓練校等	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
私立専門	8 (0)	2 (0)	5 (0)	6 (0)	5 (0)	2 (0)	5 (3)	33 (4)	
合計	11 (0)	6 (0)	7 (0)	15 (0)	19 (1)	12 (3)	16 (5)	86 (9)	
その他	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	
総計	38 (0)	37 (0)	43 (0)	40 (0)	40 (5)	38 (10)	39 (12)	275 (27)	

産業別内定状況

科	機械		電気		電子		情報技術		建築		化学工学		合計	
産業別	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
農業 01														0
建設 06~08									11	8				11
製造 09~32	28	13	10	7	15		6	5	2	1	16	2		77
電気ガス 33~36	1	1	6	8	1	5	1							9
情報通信 37~41							3	2						4
運輸通信 42~48			1											1
卸・小売 49~60														0
金融・保険 61~67														0
不動産業 68~69														0
飲食・宿泊 70~72	1									1				1
医療・福祉 73~75														2
教育・学習支援業 76~77														0
複合・サービス業 78~87														0
サービス業 80~94	3		1								1			5
公務 95~98	2		1		2		2				2			9
分類不明の産業 99														0
合計	35	15	19	15	19	5	12	7	14	10	19	2	118	54

平成23年度 決算報告

1 収入総額 4,381,799円 2 支出総額 3,820,328円 3 差引残額 561,471円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増減額	備考
繰越金	529,352	529,352	0	平成22年度からの繰越金
入会金	1,674,000	1,668,000	△ 6,000	入学生278人×¥6,000
会費	1,638,000	1,644,000	0	卒業生274人×¥6,000
会誌広告料	180,000	199,895	19,895	10社
一般寄付	270,000	340,320	70,320	
雑収入	148	232	84	預金利息
合計	4,291,500	4,381,799	90,299	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	残額	備考
基本金	331,200	331,200	0	入会金・会費総額の1割
会議費	420,000	345,335	74,665	三役会 幹事会 監査
事務費	50,000	37,665	12,335	事務用品等
慶弔費	70,000	44,002	25,998	香典等
通信費	1,480,000	1,422,728	57,272	会報(62号)発送費等
旅費	280,000	117,120	162,880	本部 東京 日立 水戸支部
会誌編集費	680,000	668,640	11,360	会誌(62号)印刷
渉外費	60,000	43,975	16,025	新聞広告等
卒業生諸費	200,000	185,278	14,722	卒業記念品
事務局費	60,000	44,000	16,000	事務局会費
北嶺費	0	0	0	学校祭補助
支部助成金	160,000	160,000	0	東京 日立 水戸支部
学校案内助成	30,000	27,825	2,175	学校案内印刷
総会費	400,000	335,230	64,770	総会補助
予備費	70,300	57,330	12,970	会長賞補助
合計	4,291,500	3,820,328	471,172	

3. 差引残額¥561,471 は次年度へ繰り越します。

平成23年度 基本金報告

定期預金(～22年度)	6,347,062 円	定期預金
平成23年度基本金	331,200 円	定期預金
合計	6,678,262 円	

平成23年度会計監査報告

平成24年4月6日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤和夫
石田秀夫
柳沼幸代

平成23年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H23 4. 22	第1回 幹事会	役員顔合わせ 定期総会について	ホテルハマツ
5. 18	第1回 三役会	定期総会について	す吾六
6. 10	第2回 幹事会	定期総会について	龍宮城
6. 25	定期総会		ホテルハマツ
9. 9	第2回 三役会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について	直雅
9. 30	第3回 幹事会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について	郡山ビューホテル
11. 22	第4回 幹事会	今後の活動および同窓会報第62号について	ホテルハマツ
11. 26	水戸支部総会	会長、副会長、校長、事務局長 出席	ひたちなか市
H24 2. 26	同窓会報62号発行		
29	同窓会入会式	会長、副会長 出席	学校
3. 1 下旬	平成22年度卒業式 同窓会報62号発送	会長、副会長 出席	学校
4. 69	会計監査	平成23年度会計監査	龍宮城

平成23年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成24年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,651名 電気科 2,436名 電子科 1,386名 情報技術科 1,310名 建築科 1,385名 環境システム科 501名 化学工学科 2,418名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月閉課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 13,760名
合計 23,567名		

職員異動報告 (平成24年度)

転入者

No.	氏名	教科等	前任校
1	佐藤 浩正	教頭	平工業高校
2	野崎 みや子	数 学	萌世高校
3	山崎 高司	保 健 体 育	福島工業高校
4	長谷川 桜	音 楽	桜ヶ丘高校
5	鈴木 恒雄	英 語	田村高校
6	諸根 正興	工業(機械)	平工業高校
7	石山 晶一	工業(電子)	教育センター
8	石崎 晃	工業(工業化学)	会津工業高校
9	池田 光治	工業(工業化学)	勿来工業高校
10	渡辺 正一	工業(機械)	福島工業高校
11	山口 賢子	工業(工業化学)	福島工業高校
12	齋藤 倫紹	工 業	福島工業高校
13	樋口 広宣	工 業	新採用
14	小泉 龍	数 学	
15	金子 卓矢	工業(機械)	
16	八木田 祐一	工業(情報)	
17	丹羽 篤美	家 庭	
18	関根 孝良	理 科	

転退職者

No.	氏名	教科等	転出先
1	阿部 米子	工業(電子)	退職
2	佐藤 喜栄	工業(電気)	退職
3	高橋 幹美	数 学	萌世高校
4	角田 昌章	工業(機械)	退職
5	田中 俊輔	理科(物理)	石川高校
6	田母神三知夫	工業(機械)	退職
7	星 光行	社 会	退職
8	高梨 哲夫	教 頭	勿来工業高校
9	竹内 章	数 学	いわき光洋高校
10	小澤 邦紀	保 健 体 育	橘高校
11	草野嘉津子	音 楽	須賀川高校
12	白井 詞明	英 語	清陵情報高校
13	山口 真二	工業(機械)	福島工業高校
14	西村 修一	工業(電気)	清陵情報高校
15	齋藤 洋	工業(工業化学)	福島工業高校
16	猪狩 俊夫	工業(工業化学)	勿来工業高校
17	服部 誠司	工業(機械)	福島工業高校
18	熊田 志郎	工業(工業化学)	会津工業高校

平成23年度 新会員報告

科	人 数
機 械 科	78名
電 気 科	39名
電 子 科	41名
情 報 技 術 科	38名
建 築 科	39名
化 学 工 学 科	39名
合 計	274名

ISO9001認証取得

「信頼を建築したいと考えています」

総合建設業 (大臣許可 第8326号)

村越建設株式会社
MURAKOSHI

代表取締役 村越弘昌

本 社 / 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字本木51番地
TEL 024-923-4567 FAX 024-923-8109
神奈川支店 / 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目5番7号
TEL 044-277-7164 FAX 044-277-7161

のぼり、横断幕、バナー等
1枚からお作りいたします。

担当…三高(北工2期 電気科卒)

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション
株式会社 ヨシダコーポレーション
YOSHIDA
〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL (024) 942-0005(代) FAX (024) 942-2233
URL http://www.media-yoshida.co.jp

■FSC(CoC)認証…2005年1月20日取得
●FSC認証紙 ●植物油インキ ●水なし印刷

平成24年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	勤務先名	卒校	年度	科
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡工	24	機
顧問	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡工	42	定電
顧問	滝田孝太郎		西工	42	電
会長	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡工	40	建
副会長	熊田 良治	緑ヶ丘保育園	郡工	40	電
副会長	伊勢野敏雄	(株)うすい百貨店	西工	43	電
副会長	熊田 晃大	荒牧建設(株)	北工	54	建
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡工	26	機
監事	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡工	39	定機
監事	柳沼 幸代	ハ光建設(株)	郡工	51	建
幹事	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡工	33	建
〃	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡工	40	定機
〃	渡辺 千尋	郡山北工業高等学校	西工	43	化工
〃	柳沼 隆夫	郡山市議会議員	西工	45	機
〃	佐久間保一	結建築研究室	郡工	46	建
〃	今井 久敏	福島県議会議員	西工	46	機
〃	宗像 恭一	アトリエビューアー一級建築士事務所	郡工	48	建
〃	中村 弘		西工	49	電
〃	柳沼 信一	県南通信サービス(株)	西工	49	電
〃	竹中 広之	(有)竹中電気	郡工	50	定電
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡工	51	定電
〃	大原 英雄	(株)ワークサポート	北工	53	化工
〃	今泉 恵一	(株)PMCテクノカ	北工	54	機
〃	田母神一吉	(有)テクノス	郡工	54	建
〃	影山 春男	県立白河実業高校	北工	56	電
〃	浦井 照夫	県立福島工業高校	北工	59	機
〃	國道 美行	県立二本松工業高校	北工	59	機
〃	渋谷 健夫	(有)シブヤ	北工	63	機
〃	今泉健太郎	(株)香設計	北工	1	建
〃	高村 幸恵	(株)桑原工務店	北工	6	建
〃	千葉 祐子	福島電話工事(株)	北工	6	建
〃	小林 吉行	(有)ウェルコスモ	北工	6	建
〃	小林 剛	(有)フタナベ建築	北工	7	建
〃	橋本 直樹	本格中国料理 龍宮城	北工	9	機
〃	吉成 透	ハマツ観光(株)	北工	20	建

企業内支部

企業内支部長	三高 秀男	(株)ヨシダコーポレーション	北工	53	電
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	北工	50	機
〃	宗像 文雄	(株)ディノン	郡工	50	電
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北工	52	機
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北工	52	工化
〃	竹石 真一	(株)ヤマキ電気郡山事業所	北工	60	電
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北工	54	機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北工	55	機
〃	岩崎 洋一	ハマツ観光(株)	北工	61	建
〃	三本木 寛	(株)朝日ラバー泉崎工場	北工	62	機
〃	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北工	11	電

運動部常任幹事

サッカー部幹事	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北工	61	化工
ソフトテニス部幹事	高橋 雅	ソニーエナジー・デバイス(株)	北工	18	機
ソフトボール部幹事	柳沼 一成	学校法人 尚志高等学校	北工	7	子
バレー部幹事	渡辺 征明		北工	55	情
野球部幹事	佐藤 輝男	田村市役所	北工	54	建

クラス代表幹事

H23代表幹事	會田 光陽	太田総合病院	北工	23	電
H23代表幹事	大澤 良太	(株)オオバ工務店	北工	23	建
H24代表幹事	橋本 拓哉	ケイセン公務員カレッジ	北工	24	電
H24代表幹事	石井 和真	(株)日本デジタル研究所	北工	24	情

H18～22まではHPにてご覧下さい

同窓会事務局

事務局 局長	本田 文一	郡山北工業高等学校	北工	52	子
事務局 次長	船山 卓也	〃	北工	1	電
事務局 次長	矢部 重光	〃	郡工	48	子
事務局 会計	高橋 由美	〃	北工	63	工化
事務局 員	渡辺 正一	〃	郡工	49	工化
事務局 員	佐々木 郁雄	〃	西工	50	機
事務局 員	笹島 貞夫	〃	北工	61	子
事務局 員	阿部 昇二	〃	郡工	51	子

平成24年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました

敬称略 あいうえお順

氏名	卒年度	科	氏名	卒年度	科
秋葉 史裕	旧職員	福島市	鴨原 英明	平4北子	長野県
浅野 利光	昭37郡建築	茨城県	鈴木 悦雄	昭42郡電	千葉県
安藤 喜勝	昭42西電B	須賀川	関 勝彦	昭40郡機定	千葉県
猪狩 次夫	旧職員	福島市	膳 所 博美	昭42郡子	三重県
伊藤 孝雄	昭31郡機B	郡山市	高原 三郎	昭27郡機	愛知県
井上 安邦	昭40郡建	神奈川県	田中 良夫	昭41郡機B	栃木県
植木 薫	昭43郡電	郡山市	田母神三知夫	昭43郡機	郡山市
宇山 昌夫	昭38郡機A	本宮市	千吉 良実	昭29郡機	東京都
大橋 重幸	平5北建	千葉県	七海 喜四郎	昭32郡機B	郡山市
小川 博芳	昭48西電A	横浜市	根本 源太郎	旧職員	石川町
奥山 智子	平23北化工	郡山市	橋本 勝幸	昭42郡機定	茨城県
小山 良一	昭33郡建	川崎市	橋本 七郎	昭26郡機B	東京都
折笠 和	昭44郡工化	千葉県	橋本 秀男	昭44郡工化	千葉県
岡部 康則	旧職員	本宮市	橋本 光正	昭36郡機B	三重県
柏倉 秀雄	昭22機併	東京都	畑 吉春	昭29郡機	東京都
加藤 平吉	昭38郡電	つばめい市	橋本 徳保	昭44郡工化	横浜市
兼田 正男	昭46西電気	神奈川県	橋本 康正	昭54北機2	郡山市
北原 正三	旧職員	福島市	増子 久治	昭42郡電定	郡山市
熊田 良治	旧職員	郡山市	宮田 健児	旧職員	福島市
栗山 芳光	昭39郡電子工	横浜市	柳 沼 喜七	昭40郡建	神奈川県
小池 勝衛	昭34郡機B	神奈川県	屋代 洋一	昭36郡電子工	千葉県
小池 征男	昭34機B	茨城県	山 崎 功	昭29郡機	茨城県
小池 芳光	昭27郡機	神奈川県	山口 隆男	昭46郡電気	千葉県
古宮 正雄	旧職員	郡山市	八代 正雄	昭34郡電	茨城県
坂本 守	昭35郡機B	郡山市	吉田 太一	昭51郡電子	田村市
佐久間 紀	昭34郡機B	北海道	渡辺 正春	昭48郡建	千葉県
櫻田 和也	昭53北電2	郡山市			

H24.1月末現在

一般寄付のお礼とお願い

会報の発送に併せて一般寄付のお願いを致しましたところ、53名の皆様より寄付を頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に利用させていただきます。

本年度からは、同窓会会員の皆様ならびに旧職員の方々にも広く、負担の少ない範囲でご協力を賜りたく、協力金という形で郵便払込取扱票を同封させていただきます。ご協力いただく際は、払込取扱票の金額欄、ご依頼の欄に必要事項をご記入のうえ、郵便局で払い込み下さるようお願いいたします。何口でも構いませんので、無理のない範囲で数多くの方々からご協力をお願いいたします。

また郵便払込取扱票は2種類同封しております。定期総会に参加される方が参加費を納入する場合は、もう片方の振り込み用紙をご利用ください。お間違えの無いように振り込みください。

DO AMENITY
ビル総合管理

株式会社 東北セイワ

代表取締役 森田 明孝

本社 / 福島県郡山市堤三丁目186番地
TEL 024-952-8355 FAX 024-952-8377
E-mail: t-seiwa@topaz.plala.or.jp
http://www.hkr.co.jp/touhokuseiwa

ビル総合管理 冷暖房機器保守管理・工事
建築物設備管理保全業務 空調機器保守管理・工事
消防防災設備保守管理・工事 省エネルギー工事
特殊建築物調査 / 建築設備検査 節水システム販売・工事
建築物環境衛生管理業務 防犯設備 / 住宅火災警報器
水道工事 / 管工事 造園設計施工

プロバングス・灯油販売・水道工事・下水道工事
フレンドホーム 正しい家づくり 通気断熱WBE工法
冷暖房設備工事・新築・リフォーム

SHIN SAN 株式会社 新産

代表取締役 二瓶 剛一

〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4
TEL(024)922-4815 FAX(024)934-1430

ホームページ 新産 郡山 検索

E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp

北工この一年 撮影(写真部、職員による)



4月:入学式
2年ぶりに体育館で実施



4月:全校生の写真撮影(スクールガイド用)



4月:部活動紹介(バスケ部)



4月:部活動紹介(機械部)



4月:部活動紹介(柔道部)



5月:選手壮行会(インターハイ)



7月:校内球技大会 (選手宣誓)



7月:校内企業説明会
企業の方が来校し会社の説明



9月:耐震補修工事
D棟・E棟の工事開始



9月:2学年修学旅行(沖縄)
平和について学習



12月:リーダー研修会(磐梯青年の家)
平成25年北工生徒会をリードする生徒



1月:定期演奏会(郡山文化センター)
吹奏楽部

ゴルフコンペのご案内

- 平成25年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。
多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事までご連絡下さい。
- 日 時:平成25年6月29日(土) ●場 所:郡山ゴルフ倶楽部
- 定 員:約32名程度
- 申 込:コンペ幹事
佐々木郁雄(西50機械)
柳沼 俊一(西49電気)
同窓会事務局
電話 024-932-1199
FAX 024-935-9849

事務局だより

本年度も皆様のご協力により63号会報を発行することができました。心より感謝申し上げます。
2012年は東日本大震災の復興元年ということで、北工に於いても建物等の修繕が急ピッチで進んでおります。少しずつですが震災前の元気な駿馬になってきました。今年は北嶺祭がありますので来校頂き、元気になった姿を見て頂きたいと思っております。
本会の運営に際しまして数多くの方々から寄付金という形式でご協力頂きましたが、今年から協力金といたしました。1口2,000円から数多くの同窓生にご協力をお願い致します。ご意見等がありましたらホームページからメールを頂ければ幸いです。
最後になりますが、同窓生の皆様のご活躍とご健康を祈念いたします。

発行所 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
事務局 〒963-8052
福島県郡山市八山田二丁目224番
☎024(932)1199 FAX024(935)9849

発行人 古川 弘
発行部数 18,000部
発行日 平成25年2月26日



株式会社 ワタナベ建装

本 社 〒963-8815 福島県郡山市水門町185-1
TEL024-943-0390(代表) FAX024-943-6748
☎ 0120-17-0390

マイクロバス(29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車
ライトバン・トラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積車載車
冷凍冷蔵庫(軽・2t・3t積)の御用命は……

有限会社
郡山中央レンタカー

TOUGH あいおいニッセイ同和損保 代理店
MS&AD INSURANCE GROUP

代表取締役 渡邊俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎ (024) 924-0844・932-8828
FAX (024) 934-5334 〒963-8061
URL: http://www.kcr.jp